

ONE FOR ALL ALL FOR ONE

生活指導通信 第6号 令和3年10月18日(月)

校則・制服の見直しについて

1学期末に実施しました校則制服アンケートへのご協力ありがとうございました。たくさんのご意見をいただき、たいへん参考になりました。先日、「第二回校則・制服検討委員会」をもち、校則の変更案について検討し、制服に関しては今後の方向性について確認をしました。

以下、アンケート結果と見直しの方向性について簡単に紹介します。大蔵中学校HPにもアンケート結果の詳細を掲載しておりますので、そちらもご確認ください。

校則アンケート

1 肌着について

肌着については、生徒・保護者共に「指定しない」という意見が最も多い結果となりました。黒、ベージュや紺などを認めていく方向で検討が進みましたが、一方で赤や大きなデザインの入った T シャツなど、シャツの下から透けて目立ってしまうものは不適切といった意見がありました。

2 通学靴について

通学靴についても、生徒・保護者共に「指定しない」という意見が最も多い結果となりました。白色に限定していることのデメリットに関する意見が保護者の方から特に多くありましたので、色に関しては指定しない方向となりました。その他、部活動や体育の授業でも使用するため、運動に適している、安全性・機能性・耐久性を重視する意見や高額なものは盗難のリスクがあるため避けるべきという意見が出されました。

3 靴下(色と長さ)について

靴下の色に関しては、生徒・保護者ともに「白・黒・紺・グレー・華美でないもの」が最も多い結果となりました。通学靴と同様に、白色に限定しているデメリットに関する意見が多くありました。また、儀式行事(入学式、卒業式、文化発表会、その他式典)の際は、その場に応じた色に統一したほうがよいという意見がありました。

靴下の長さについては、生徒・保護者ともに「指定しない」が最も多い結果となりました。スニーカーソックスを認めてもよいという意見もあれば、やはり足首の保護からスニーカーソックスは不適切とするべきという意見もありました。また、防寒の観点からハイソックスも認めるという意見もありました。靴下の長さに関しては特に指定はせずに、だらしないはき方をしない(ルーズソックスなど)方向で検討をしています。

4 セーター(色・形状・着こなし)について

まず、色については、「現行(黒・紺)のまま」という意見が生徒・保護者ともに最も多く見られましたが、同じくらいの割合で「白・黒・紺・グレー・ベージュなどを認めてもよい」という意見がありました。現行(黒・紺)が最も買やすい、汚れが目立ちにくい、今の制服に合った色であるといった意見が多かったです。

形状については、「指定しない」という意見が最も多い結果となりました。特に多かったのは、カーディガンについての意見です。着脱しやすく、温度調整もしやすいという理由からカーディガンの使用を認めてほしいという意見が生徒からも保護者からもありました。検討委員会では、カーディガンを認めていく方向で検討をしました。

着こなしについては、「指定しない」という意見が生徒・保護者ともに最も多い結果となりました。温度調節がしやすいという点から校舎内でセーターのみで過ごすことを認めるという意見が多かったため、その方向で検討をしました。ただし、登下校時は大蔵中学校の生徒だとわかるように、セーターのみではなく、制服を着用すべきであるという意見が多かったです。

5 ウィンドブレーカーについて

生徒は「学校指定以外のもの、華美でなく、高価でないもの」が最も多く、保護者は「現行のまま」という意見が最も多く見られました。現行のものについては、高価である、卒業後着られない、部活動と普段着と合わせて3着買わなければならない経済的な負担を心配する意見もありました。しかし、現行のものを廃止し、自由化にすると高価なものを購入する家庭がある、またその年の流行に流され毎年購入してほしいと子どもが言う場合は、さらに経済的な負担が大きくなるのではないかと心配する意見もありました。引き続き第3回でも協議することになりましたが、学校指定のウィンドブレーカーの購入は希望者のみで部活動で購入したものを普段使用することが可能ですので、両方買う必要はありません。

6 帽子について

帽子については、生徒・保護者ともに「色の指定はしない(華美でなく、キャップ型であること)」が最も多い結果となりました。ウィンドブレーカーと同様、学校で購入した帽子は卒業後の使い道がないという意見がありました。また、キャップ型である必要がない、熱中症予防のためならハット型でもよいという意見もありました。色についても熱中症予防であるなら黒などの熱を吸収する色は避けるべきではないかとの意見がありました。現状でも学校で販売している帽子は希望者のみでワンポイントの白色帽子ならかまいませんので、必ず購入する必要はありません。

7 髪の毛のくくり方について

髪の毛のくくり方については、生徒・保護者ともに「学習の妨げにならないよう、各自の判断でくる」という意見が最も多く、髪の毛のくくり方(高さやシルエットを含めて)まで校則で規制していることに疑問を感じる、自由でよい、邪魔なら自分の判断でくるという意見が多くありました。一方で、給食時や実習時の衛生面を心配する意見もありました。学習や運動時の機能面と衛生面のバランスを考え、検討していくこととなりました。

8 ツーブロックについて

ツーブロックについては生徒・保護者ともに「指定しない」という意見が最も多かった一方で、「極端なものも可」とする意見は最も割合が低く見られました。ツーブロックは奇抜ではない、耳回りがすっきりして清潔感のある頭髪だといった意見が多くありましたが、極端で威圧的なものは不適切という意見もありました。威圧的や清潔感、好印象などあいまいな表現で基準がわかりにくいため、写真などを使って具体的に例示すべきといった意見もありました。ツーブロックに関しても可能な範囲で基準を持てるよう検討していくこととなりました。

9 飲み物と腕時計について

飲み物では生徒は「スポーツドリンク可」という意見が最も多く、保護者は「現行(お茶、熱中症対策期間はスポーツドリンク可)のまま」という意見が最も多いという結果になりました。熱中症予防の観点から、個人の体調に応じて、スポーツドリンク可とする意見がある一方で、スポーツドリンクを摂取しすぎることに關するデメリット(糖分の過剰摂取など)を不安に感じる意見もありました。スポーツドリンクを可とし、飲む頻度に関しては各家庭で判断していただくという方向で検討をしました。

生徒は「腕時計を着用してもよい」という意見が最も多く、保護者は「現行(持ち込み不要)のまま」とする意見が最も多い結果となりました。登下校時に時間を確認できる、時間を見る習慣がつくという意見がありましたが、保護者の方からは盗難、紛失、故障を心配する意見が多く見られました。腕時計に関しては特別な事情がある場合を除き、現行のままでよいという方向で検討しました。

制服アンケート

1 現在着用の学生服をどう思うか

生徒は男女で異なった回答となりました。男子は「あまりよくない」という割合が最も高く、女子は「まあまあいい」と回答した割合が最も高い結果となりました。保護者も「まあまあいい」の割合と「あまりよくない」の割合に大きな差は見られない結果となりました。

2 見直していく必要があるか

この項目も男女で異なった回答となりました。「見直しが必要である」と回答した男子の割合は80%近くで、女子はその割合が約50%という結果となりました。保護者も「見直しが必要である」と回答された方が約70%という結果となりました。このことを受け検討委員会ではLGBTQ+の観点からも、見直しを検討していくことになりました。

3 制服に必要なもの

生徒からは機能性、耐久性、デザイン性を重視する割合が高く、保護者は機能性、耐久性、コストパフォーマンスを重視する割合が高く見られました。機能性という面において、女子の制服の重さやベスト、スカートに関する意見がありました。

4 制服に必要な機能

生徒・保護者ともに「丈夫さ」「洗濯ができる」「軽さ着心地」が必要であると回答した割合が多いという結果となりました。これも女子の制服に関する意見が多く、スカートのひだが多く重たい、濡れるとさらに重たくなる、アイロンがけが大変であるといった意見がありました。

5 デザインについて

女子は「スーツ」「ブレザー(スラックスとスカートが同じ柄)」「ブレザー(スラックスとスカートが違う柄)」、それぞれの回答が同程度の割合となり、男子は「ブレザー(スラックスとスカートが違う柄)」を回答した割合が最も高い結果となりました。保護者の回答も「ブレザー(スラックスとスカートが違う柄)」の割合が最も高い結果となりました。

6 カッターシャツかポロシャツ

生徒らは「カッターシャツ」を希望する割合が男女とも高く、保護者は「ポロシャツ」を希望する割合が非常に高いという結果でした。アイロンをする必要がなく、保護者負担が軽減されるという意見があがりました。

7 学校指定のセーターやベストについて

生徒・保護者ともに「学校指定を希望しない」という割合が高い結果となりました。校則の見直しと合わせて検討していきます。

8 制服のイメージについて

生徒・保護者ともに「さわやか」というイメージの割合が最も高く、次いで「明るさ」「かっこよさ」や「元気」があがりました。その他、「清潔感」や「清楚さ」「かわいさ」「おしゃれ」などの意見もありました。

9 ブレザーの色、スカート・スラックスの色について

ブレザーの色について、生徒は「紺」「黒」の割合が最も高く、保護者は「紺」と回答した割合が最も高い結果となりました。黒は重たく、暗いイメージがあるという意見や、その他、茶色がよいという意見もありました。

スカート・スラックスの色について、女子は「紺」や「黒」を取り入れたいという意見が多く、男子は「グレー」や「エンジ」を取り入れたいという意見が多く見られました。保護者は「紺」を希望する割合が高く、その他茶色やチェック柄等の意見も多くありました。

校則については第二回・第三回校則制服検討委員会に変更案の検討をし、3学期には試行期間、令和4年度1学期から本格実施としていきたいと考えております。校則の変更点については2学期中にお知らせしますので、それまでは現校則を守るようお願いいたします。

制服については数社の制服業者へ依頼をし、三者懇談会期間中に制服のサンプルをいくつか展示できるようにしていきたいと考えております。その後、業者を選定し、令和4年度より新制服の打ち合わせをしていく予定としております。